

学校だより

R 8 . 6 . 2 5 発行

清水小学校



自然の中で育んだ成長と絆

教頭

2日間の野外活動センターでの活動を通して、子どもたちの成長を数多く見る事ができました。集団宿泊や班活動では、自分の役割を果たそうとする責任感や、仲間と協力して課題を解決しようとする姿が見られました。自然の中での体験活動では、普段の学校生活で見られない積極性や挑戦する気持ちが発揮され、多くの笑顔があふれていました。

また、活動後の振り返りでは、自分の行動を見つめ直したり、仲間への感謝の気持ちを言葉にしたりする姿が印象的でした。特に、時間を守って行動することや、相手を思いやりながら協力することの大切さを実感し、一人一人が集団の一員としての自覚を高めていたように感じます。初めは不安そうだった子どもたちも、活動を重ねる中で自信に満ちた表情へと変わっていききました。

困難な場面を互いに支え合いながら乗り越えた経験は、子どもたちにとって大きな自信となったはずです。今回得た学びや築いた仲間との絆を、今後の学校生活の中で更に深め、日々の学習や学校行事など様々な場面で生かしながら、高学年としてより大きな成長へとつなげてくれることを期待しています。



クラブボランティアの先生方の紹介

6つのクラブの指導には、教職員だけでなく地域の方6名が来てくださることになりました。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

手芸	1名
生け花	1名
茶道	1名
ボードゲーム	1名
トーンチャイム	1名
かるた	1名



～5年生 集団宿泊活動～



私は、集団宿泊活動で学んだことが2つあります。1つ目は、野外炊事を通して、仲間と助け合うことの大切さや協力することの意味です。2つ目は、オリエンテーリングを通して、仲間のことを思いやる気持ちです。また、集団宿泊活動で心に残ったことはキャンプファイヤーです。私の班は、クイズを行いました。せりふをすらすら言えたのでよかったです。そして、集団宿泊活動で学んだ、協力・助け合う心を大切にしたいと、これからの学校生活などに生かし、困っている人が今よりも少なくなるようにしたいと思いました。

5年生

ぼくが1番心に残った活動は、オリエンテーリングです。一人ではなかなかむずかしそうな活動で、改めてみんなで協力することが大切だと思いました。実際に始めてみると、地図を見ても全然進まなかったけれど、みんなで話していると少しずつ分かってきて、一つ目のアルファベットを見つけることができました。その時はすごくうれしくて達成感がすごかったです。これもみんなでしっかりと協力できたからだと思いました。これからもこの体験で得た学び「みんなと協力する。切りかえをしっかりとる。」を学校生活で実行したいです。

5年生



～6年生 修学旅行～



私が修学旅行で学んだことは、「平和の大切さ」です。原爆ドームや資料館に行き、戦争の悲しさを知りました。ボロボロの衣服や写真の展示を見て、一しゅんでたくさんの命や街がうばわれた恐ろしさを強く感じました。学んだ戦争の歴史や恐ろしさを忘れずに、今ある当たり前の毎日に感謝しながら、平和の大切さを周りの人にも伝えて行きたいです。また、レオマワールドでは、友達と一緒にスリル満点の乗り物に乗ったり、お土産を選んだりして、最高の思い出になりました。この2日間の思い出を大切に、これからの学校生活もみんなで仲良く頑張りたいです。

6年生

私は、修学旅行で平和記念公園に行き、佐々木禎子さんの像や、平和の鐘などを見ました。写真で見たのとは違う雰囲気を感じました。原爆資料館の中には、当時来ていたボロボロの服や、三輪車がとても好きだった子が原爆が投下された日に乗っていた焼けこげた三輪車が展示されていました。ここでは、たくさんのつらい思いをした人たちがその当時だけでなく、今もいることを知ることができ、これからもっといろいろなことを学んで、次の世代へつなげたいと思いました。レオマワールドでは、ルールを守り楽しくアトラクションに乗ったり、友達とご飯を食べたりしました。この2日間貴重な思い出ができました。

6年生